

社説

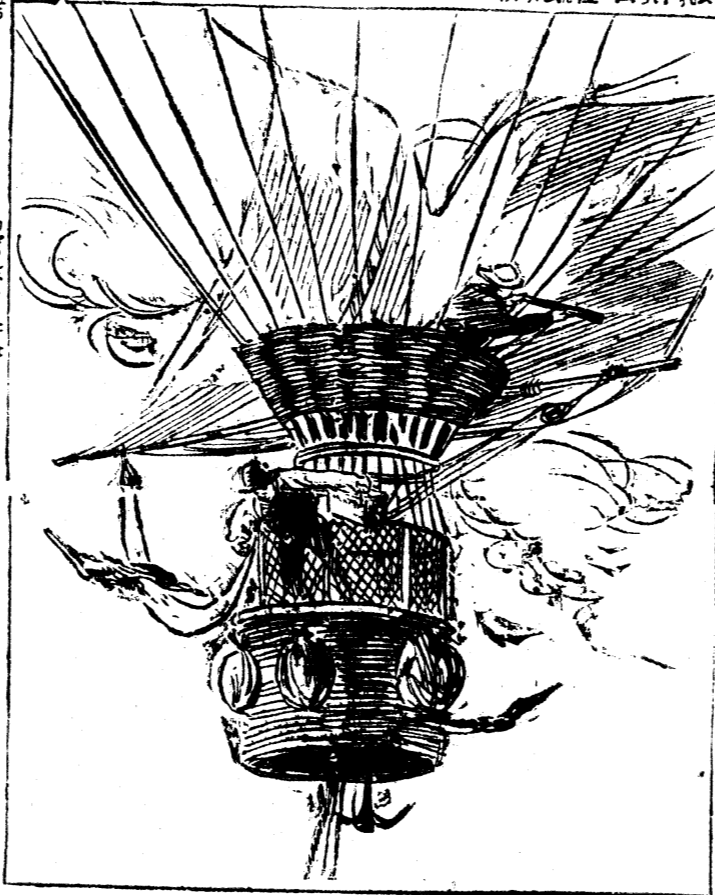
臺灣に公娼の營業を許す可し

世人の一般に有害視する阿片の毒煙を公然官許して喫用せしむる程の寛大なる政府が今以て臺灣に公娼許可の沙汰あるを聞かざるは我輩の竊に怪し所なり抑も新植民地に公娼許可の必要なるは申す迄もなく殊に戦後の恐慌猶ほ未だ已まざる臺灣の如きは一日も早く此種の營業を許可して民心を和むると同時に取締を厳重にせざる可からざるその次第を語らんに嶋地に於ては到る處、密賣煙の風盛にして爲に惡疾の傳染は其害毒の甚だしきと阿片の煙烟より恐る可きものあり阿片煙を喫するに價の廉ならざる煙管、手ランプ、鐵筆等種々の道具を取揃へて火に點しては煙り又煙りては指の先にて丸めるなど多くの時間を要するのみならず其香氣四隣に隠れなければ當局者にして眞面目に之を嚴禁せんとの覺悟あらんには各戸に就てドック、其器械を取上げ隨て製すれば隨て取上ぐる面倒さへ厭はざれば幾重にも取締を嚴にするの方便あれども密賣煙の一事に至りては容易に發見し得ざるのみならず臺灣島民は支那人の癖として口に道徳を唱ながら内實は無恥貪慾にして節操なく腐敗醜態、律す可からざる其醜態は只驚くの外なく少しく都會めきたる場所には總て醜態の巢穴ならざるはなく甚だしきは夫妻心を合せて醜態を營むるものさへある他の一方には遙々嶋地に渡來して無聊無事に苦む内地の渡航者が徒然の除り知らず識らずの間に彼等の誘ふ所と爲りて思ひも寄らぬ惡疾に感染しなからん自ら深く秘し置くなり毒流次第に蔓延して患者の數、日に多きを加ふれば之を取締るの方便なき上に醫藥も充分ならざれば療養意の如くなるすして遂に不具痼疾の廢人となるもの尠なからざるよし斯る弊害は内地に於ても往々有がちの事にして本人の不心得より生ずる因果なれば銘々の自業自得として其儘に棄て置くる差支なきに似たれども在臺灣の内人は概ね軍人軍夫若しくは官吏職工等にして内地より態々出張せしめたる其費用は一方ならざる其上に病氣とあれば官費を以て又々内地に送り返さざる可からざるなど個人にして個人にあらざる貴重の身なれば内地の放蕩家が自から病に墜りて自から苦しむるもの同一視す可からず内地よりの渡航者にして斯る次第よりして身の健康を害するが如きあらば國家の經濟に關するのみならず一朝事あるの日に當り相當の人数は揃へながら兵力の不足を感ずるが如き奇談も聞る可らず由々しき大事にして此邊の事までも想像して精算したらんには差當り直接に受くるの害は阿片よりも更に甚だしきものある可し左れば此邊の可き善事を避けんとするには國民と内地の境線者とを問はず醜態を營むるの如く公娼として一定の規則を設け惡疾の傳播せざる様嚴重に取締を爲すの一法あるのみ或は内地より醜態の蔓延を公然許可して幾分の保護を與へ寧ろ渡航者の多からんことを獎勵するも亦一の方便なる可し斯の如くにして彼地の到る處に此種の營業を視るに至らんか數年ならずして土地の繁榮富に倍し人衆も一層和きて國民も大に安堵するもならん雙方のために寧ろ善い可き事なり世間には廢娼の説など主張するものさ

（ありて内地より醜態婦を渡航せしむるは國の體面を損するものなれば嚴重に取締る可しとの論もあるよしなれども此等は畢竟世事を解せざる養生論として暫く擱き既に内地に於ては公然許可の營業を獨り臺灣に限りて許さざる當局者の意見は果して那邊に在るや解す可らず我輩は内地より出稼人を移住せしむるにも又彼の嶋民の心を和むるにも公娼の營業を許可するも目下の急務なる可しと信するものなり若しも當局者にして禁せざる可からざる阿片の煙煙を禁せず、許さざる可からざる公娼の營業を許さずして當りず觸らずに無爲の治を夢みんとするが如き姑息手段に溺るゝらば創業の施政は如何あらんかと竊に掛念に堪へざるなり

北極探検用の風船

獨逸人アンドロ氏は風船に乗て北極に達せんと既に之に用ふる一種特別の風船を作らしたるよし氏の云ふ所に據れば若し順風の時ならばスピッパーゲン群島(北氷洋の露領)のノークス岬より出發して十時間を過ぎなれば北極に達するを得べし又假令風が逆ならざるも風船の進行に妨害を與へざる限りは四十八時間にして彼處に達す可し然れども途中に於て意外の故障起るやも保し難ければ先づ三十日を費やすの豫算なり此風船の組織は其頂上に油を塗りし布の蓋を置き其蓋と風船との間に空氣を貯へて温度激變の爲め身體を害するを防止すると同時に頂上に雪の積るを避くるなり又その大さは直径六十七呎にして十三萬五千立方呎の瓦斯を貯蓄し帆を備へて進行を助けしめ衣服、鐵砲の外に四箇月半の糧食を貯ふるを得るとなり



臺灣電線沈没船

沖繩丸は去る十三日英國グラスゴウの造船所を解纜して十七日に倫敦の近傍なるグリーンツに着し同所より海底電線二百四五十海里を搭繋する筈なれば今日頃グリーンツを出帆するならんといふ左れば同船の長崎に着するは六月二十日前後となり夫れより鹿児島大隈に運航して電線沈没に着手する時は海上不穩の季節に際會すべきを以て工事には一方ならぬ困難を來して竣工も大に遅延すべしと云ふ

勝山町大火の後報

越前國勝山町大火の事は已に此程の紙上に記載せしが尙ほ其後報に據れば焼失戸數は勝山町千二百戸、村岡村大字浦波七十八戸、荒土村大字新保二十六戸合計千二百二十四戸にして焼死人は五名ありしよし

水産博覽會の事務官 昨日公布されたる第二回水産博覽會事務局官制に依り近日事務局長以下を任命する筈にて事務局長は金子次官、事務官は藤田農務局長柳谷特許局長、早川秘書官、葦原書記官等と内定し又審査官は田中芳男、村田保兩氏の中より撰拔する筈なりと

負傷外國人の後報

前號に掲げし福井縣教習の近傍にて大怪我したる外國人はボーターと云へる人にして京都に在留せるものなり其後猶ほ救護病院に於て療養中なるも果して一命を取留め得べきか未だ見込付かずと云ふ

招魂大祭典の祭式

樺山臺灣總督の發意にて來る二十五日上野公園不忍池畔に於て臺灣及び澎湖羣島戰死病没者の招魂大祭典を舉行するに就ては神佛兩教にては双方より委員を出して交渉を重ねたる末祭典祭式祭費其他萬般の順序を決定せしが神道各派にては神宮事務取扱藤岡好古氏を祭主に推擧し且つ甲斐一彦(神宮教)、佐々木幸見(大社教)、關秀賢(神教)、其他一二の諸氏を委員と定めて當日の祭典事務を一任する事

毛利公爵邸の招 には來月三日長州出陣軍將校を招き慰勞會大庭、谷ノ音、大砲等の枋木縣の天理教を以て各警察署へ天理常盤座 本日よりの賜物語の通しに大切判は 新吉原仲の町場、道手番屋の場、雲の場、同辻番の場、深奥の間の場 役割 十三郎、阿古、網打五平次(慈童二)、升、庄屋作兵衛、高の、楓、かつら、新造中、新介、女房、なみ(桂)、壽、傾城、三浦屋、財天、船頭、保名(久)

夜汽車の

第六回 引ッ 親方、ベラボツと長と云ふ者は是れ水角のイヤ待たして氣の毒時に茨、仕事の都合カラッキン、無しで此身も左様じやね、彼の代吉が藤井に強上る種を握てるぞ、テ親方、お前も同此身は何にも忘れやと云ひつゝ、驚尾博士は如斯く悪く成て、と代吉のふとに就て聞て呉んね、承知しました野郎に二度と再び鹿が、ハテチ分たらう仁吉、此仕事さうさう、野生も、からチ 仁吉、手前、何を取教云ふのも、手前の、からだ、彼の仕事に、親方、餘り良い度胸は、ひ付たからにや、何處子、蘆井の界隈で絶妙に、野生や、代吉が地下に、らうと思ふのサ、そりや、手前ばかりトリ